LOOK WIDE NEWS KYOTO SUNHA°CHI SENIOR SCOUTS

広視日誌

15. DEC. '94
No.019

日本ボーイスカウト京都第38団シニアスカウト隊機関誌

新SSLから

サンパチ
シニアスカウト隊
によせて
隊長　榎本信也

小学６年生の時、カラーグラビアの美しい一冊の自動車専門誌に出会って以来、ちょうどこの夏で購読満３０年を迎えた。

中学２年生の時、自転車の世界を知り、サイクリングからスポーツ「自転車競技」へと。高校２年生の時、第24回国民体育大会 自転車4000m個人追い抜きに出場した。大学に入ってからも離れられず、インターカレッジにも出場した。

高校３年生の時から１人旅が好きになり、自転車、オートバイ、車、ヒッチハイクなど・・・　大学卒業迄で、ユースホステルの宿泊数が、海外も含め300泊近くになった。よく大学を卒業出来たものである。

大学入学とともに中村三之助君と友達になり、昭和48年10月22日「ハウス長休」の誕生と同時に「ちかいの式」を行い、38団ローバースカウト隊に入隊した。

昭和50年秋、ウッドバッチ実修所BS課程第33期の実修キャンプ（第2教程）から帰京後、約2ヶ月間のヨーロッパ貧乏旅行に出発した。

約10ヶ月後アメリカも見たくなり、自転車を持ってサイクリングとバスの旅を2ヶ月に渡って経験した。

過日「２０年年功章」を京都連盟からいただいた。

ふっと気がつくと38団入団22年目を迎えていた。

中学３年生になるガールスカウトでもある「娘」の生活を見ていると、レッスンと塾と家庭教師の、典型的な受験生の生活で、なかなか「スカウト活動」の入っていく余地がないようにも思える。

ボーイスカウト活動は「運動」であ

12月隊集会の案内

パラシュートハイク
12月17日21:00～18日10:00
(18日引き続き団行事)
集合17日(土)21:00末吉副長宅
一泊ハイクの装備を携行

内容 ①新入隊員パラシュートハイク
②入隊式
③ '95新班編成、年間活動計画
④18日団行事について
⑤定例隊集会日時再考、その他
ＳＳ手帳、隊費(500/月)、筆記具等持参

新上進者　◆シニア隊は君を歓迎いたします◆

阿原求尚君、江本　務　君、末吉祐太君、
八木創平君、山田哲央君、山本　平　君、

11/5上進式(山本 平 君欠席)

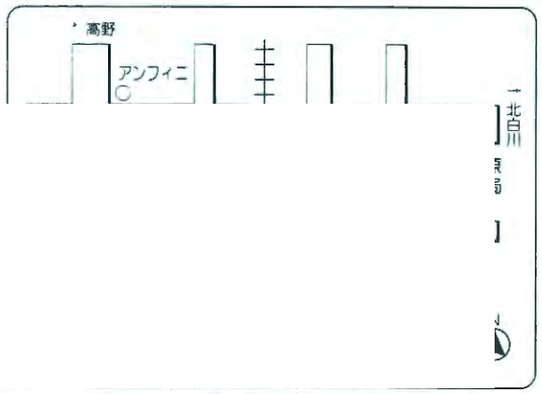
今後の予定

12/18 団行事 10:45集合 11:00セレモニー後 模擬店等
1/1　新年の集い 08:30～ハウス広場
1/16 全国女子駅伝大会 奉仕 11:30 烏中前集合
1/?　１月定例隊集会(ゲームバトル大会?)
2/?　２月定例隊集会
3/12 全国車椅子駅伝大会 奉仕
3/?　３月定例隊集会(現実直視、追い出しパーティー)

欠席や遅刻の連絡は必ずすること。

このような注意を促されることは恥ずべきことと受けとめられないような時代と化すかは、信じたくもない。

定例隊集会場として
榎本隊長の事務所を案内します。



株式会社工

■新住所
■TEL
■FAX
■代表取締役

る。運動であるだけに、より活発に、より確実に行って行きたい。しかし、その為の重要な要素として、それぞれの「自発活動」が不可欠なものになってくる。特に、シニアスカウティングでは、個人プロジェクトが隊プログラムの中で生かされていかなくてはいけない。

ということで・・・　これからいっしょに活動していきたいと思う。

9/17～9/18　北山地区ＳＳラリー(カヌー講習会)のスナップ　　沈んでいるのは誰でしょう？

8/17 積丹半島神威岬の奇岩をバックに参加のスカウト達。なんとか載せられるのはこれ写真だけ。(5名+カメラマン1名)

11月までの活動記録

7/31～8/9 第11回日本ジャンボリー　上級班長奉仕　八木立夫
8/5～8/8　ＣＳ隊キャンプ奉仕　入矢次郎、北村和幸、西野誠人、SSL
8/10～8/19　ＳＳ北海道プロジェクト移動キャンプ
　伊藤良崇、出口浩平、入矢次郎、西野誠人、江本 勝、山田泰央
8/21～8/26　ＢＳ隊キャンプ奉仕
　八木立夫、伊藤良崇、出口浩平、江本 勝、北村和幸、山本亮太、SSL
9/15 スカウトの日奉仕 伊藤良崇、出口浩平、八木立夫、北村和幸、山本亮太
9/17～9/18　北山地区ＳＳラリー(カヌー講習会)
　八木立夫、入矢次郎、山本亮太、末吉祐太、八木創平、SSL、榎本L
10/8～10/10　京都連盟技能章講習会(沿岸視察章、鳥類保護章、森林愛護章)
　伊藤良崇、出口浩平、八木立夫、山本亮太
10/16 カワセミハイク　中止(参加者１名だけの為)
10/23, 11/13　京都連盟技能章講習会(手話章) 入矢次郎、山本亮太
11/13 報恩講 SS隊集会
　伊藤良崇、出口浩平、八木立夫、山本亮太、末吉祐太、八木創平

シニアー活動はどこに？

サンパチシニアの行方は？(1994)

前SSL　末　吉　央　伯

今夏には久しぶりに北海道へ移動キャンプを実施したが、中味を隊長は高く評価出来ないでいる。それはスカウトが若さを失っていると思うからである。つまりなにかにつけ、楽を求める様子が伺える。それは苦労をして始めて得られる喜びを見出だしていないことを残念に思うからだ。

今年、団から新しくドームテントはじめガスコンロ等を備品として購入して頂き、それらを活用すべく、６月に広河原野営場で２泊３日の固定キャンプを実施した。期間中、アマゴの薫製作りや、伏条台杉探査等が行ったが、そのときにいささか面倒なことや、苦しいことを経てはじめて楽しさが得られることの体験をしたはずなのだが、それが生かされてないと思う。

パラシュートハイクに始まって、カワセミハイクに終わるシニア隊の活動が、今年はカワセミハイクが参加可能者１名ということで、中止となって何か締めくくりの無いものを感じるのは、隊長だけなだろうか。

自主的でなく、やらされているという活動はもう卒業して欲しいものだと、いつも期待してはいるのだが、隊長がうるさくいうのでレポートを提出するとか、計画に揚げていたから、ではやりましょうかと、何か他人事のような取り組みが多いように思われてならない。

しかし何も要求しないかと思えば、けっこう楽をするためのアイデアだけは持ち出して来る。それはそれで悪いことではないのだが、それに理解を示しても、最低のやるべきこと(権利に対する義務というようなもの)がおろそかになってしまっているのではないだろうか。

次期の隊長に「榎本信也氏」をお願いし、快くお引き受けくださっているが、今の状態では、なんともご苦労をお掛けするようで心苦しい。

何といってもシニアー活動は面白くなくて何が活動と言えるだろうか。小生自身隊長としてスカウトたちにその入口を多く紹介して来たつもりだが、今のところ鳴かず飛ばずというところ。

次の榎本隊長に見守って頂き、本当のシニアリングが始まるのを気長に待つといたしたい。

今井喜明君が創刊した本誌、３年間に３号から19号までのわずか17刊しか出せなかった。本来のスカウト自身による編集が来る日をこれまた待つことに……。

隊長のタスキを渡してホッと出来ないでいるさびしいスカウターなのだ。